

セッションC 一般テーマ 医学・人口問題

座長：豊川 裕之・白崎 和夫（東大・医）

(14:00~18:30)	分
C-1 疫学調査における回収率：中江公裕（東大・医）	10
C-2 各種疾患の死亡構造に関する多変量解析：白崎和夫（東大・医）	15
C-3 医療における人間行動の2, 3の特性について：壽田鳳輔（都立母子保健院）	15
C-4 看護活動の必要度の計量：○青木和夫・津田佳世子・渡辺亮一・田中恒男（東大・医）	15
C-5 個人標準値設定の試み—検査値の変動要因の検討—：武田 裕（阪大・医）	15
C-6 わが国における脳卒中の病型鑑別診断（第4報）—年次推移の因子分析—：広田安夫（九州歯科大）	15
C-7 わが国における脳卒中の病型鑑別診断水準（第5報）—死亡統計修正の試み—：○広田安夫・大石範子（九州歯科大）	15
C-8 臨床決定の一つの試み—すい疾患診療を例として—：○野村 裕（大阪府立成人病センター）・中村正彦（東海大・医）	20
C-9 人口老化に関する諸指標と人口動態等の諸率との相関分析：○山田和枝・山本幹夫・寺尾浩明（帝京大・医）	20
C-11 現代社会における健康観と健康指標の考察—アンケート調査分析を主体として—：○関田康慶・横山 保（阪大・経）・太田拓男（追手門学院大・経）・井上通敏・武田 裕・梶谷文彦・稲田 紘・堀 正二・辻岡克彦（阪大・医）	20
C-11 疾病の非線型力学モデル：○田中 博・古川俊之（東大・医）	20
C-12 人間の子知特性に関する研究：○江川義之・古川俊之（東大・医）	20
C-13 コンパートメントシステムとその性質：梶谷文彦（阪大・医）	20
C-14 多重ロジスティックモデルによる慢性疾患のリスクファクターの検討：辻岡克彦（阪大・医）	20

討 論

9月1日(木)

207 番 教室

セッションA 一般テーマ 生態・行動

座長：岡本 雅典（広大・総合科学）

(9:00~10:00)

- | | | |
|-----|----------------------------------|----|
| A-1 | 沿岸域生態系の情報図作成の試み：村松 晃（日立・システム開発研） | 15 |
| A-2 | 主観情報量による行動現象の計量：広田 薫（東工大・工） | 20 |
| A-3 | グッピー個体群の一時的過剰移動の解析：渡辺孝孝（岡大・教養） | 15 |
- 討 論

セッションB 特別テーマ 薬効の判定

座長：仮谷 太一（川崎医大）・後藤 昌司（塩野義解析センター）

(10:00~12:00)

- | | | |
|-----|--|----|
| B-1 | 順序のある分類計数データにもとづく各種検定法の比較（その1）：○有田清三郎・中村 忠・仮谷太一（川崎医大）・山本英二（岡山理大） | 20 |
| B-2 | 順序のある分類計数データにもとづく各種検定法の比較（その2）：○中村 忠・仮谷太一・有田清三郎（川崎医大）・山本英二（岡山理大） | 20 |
| B-3 | 累積度数データにもとづく薬効検定について：○山本英二（岡山理大）・仮谷太一・中村 忠・有田清三郎（川崎医大） | 20 |
| B-4 | 薬効の新しい検定方法について—順序のある分類計数データの解析—：仮谷太一（川崎医大） | 20 |
| B-5 | 生命表分析による薬効評価：宮原英夫他（北里大・医） | 15 |
| B-6 | 層別因子の評価方法の比較—CEA（癌の診断薬）を例として—：高橋行雄（日本ロシュKK開発本部） | |
- 討 論

13:00~14:00 総 会

9月2日(金)

207 番 教室

セッションD 一般テーマ 心理・教育

座長：西川 泰夫（上智大・社会工）

- (9:00~11:00) 分
- D-1 SD法によるデータへの三相因子分析の適用について：○辻本英夫・村上 隆・後藤宗理 15
(名古屋大・教育)
- D-2 判断矛盾の測定について：丹羽富士雄（筑波大・社会工） 20
- D-3 確率過程からみた短期記憶検索：西川泰夫（上智大・文） 20
- D-4 アイテムバンクを利用して構成したテストの得点分布と統計的特性の推定：○佐藤隆博・ 20
倉田政彦（日電・中研）
- D-5 知的能力移動の研究（その1）：柏木繁男（東洋大・工） 20
- D-6 筆圧曲線のスペクトル解析による類型化：○山下富美代（立正大・教養）・谷山郷子（足 15
利工大・工）

討 論

セッションE 一般テーマ 調査・分析

座長：安本 美典（産業能率短大）・岩坪 秀一（電子技術総合研）

- (11:00~12:00)
- E-1 日本人の宗教・慣習に関する計量的分析（その1）：上笹 恒（筑波大・哲学思想学系， 15
MDS研）
- E-2 日本人の宗教・慣習に関する計量的分析（その2）：杉山明子（NHK世論調査所，MD 15
S研）
- E-3 入社動機と生活意識の多変量解析：○小嶋外弘・棚橋菊夫・三根 浩（同志社大・文） 15
- (13:00~15:00)
- E-4 社会指標データの解析について：三重野卓（東大・社会） 20
- E-5 大都市における言語生活の実態—数量化理論による分析—：○米田正人・江川 清・野元 20
菊雄（国立国語研）
- E-6 コミュニティ・オーガニゼーションを目指す地域社会診断の一方法—意識調査に数量化に 15
よる分析を適用して—：高倉節子（上智大）
- E-7 多量クロス集計の一評価方法について：水野欽司・○大隅 昇（統数研） 20

討 論

****パネルディスカッション****

総合テーマ 「情報と行動」

座長兼指定討論者：安田 三郎・小野 茂（広大・総合科学）

- 15:00~15:20 情報と動物行動—フィードバックの不確定性と遂行の関係—：羽生義正（広大・教育）
- 15:20~15:40 人間における行動解発刺激：岡本栄一（日本女子大）
- 15:40~16:00 言葉と行動：安本美典（産業能率短大）
- 16:00~16:20 噂さに踊らされる人たち：木下富雄（京大・教養）
- 16:20~18:00 総合討論

9月3日(土)

207 番 教室

セッションF 特別テーマ 要因変量のききめの計量

座長：吉沢 正 (山梨大・工)

(9:00~10:00)

	分
F-1 類似度データと刺激の属性：前川真一 (東大・文)	15
F-2 基準変数が多数ある場合の説明変数のききめ：柳井晴夫 (千葉大・人文)	15
F-3 連結ベクトル図による前進法後退法 (II)：平松 惇 (岡大・教養)	20
討 論	

****特別講演****

座長：丘本 正 (阪大・基礎工)

10:00~11:00 お化けを計量する：林 知己夫 (統計数理研究所)

11:00~12:00 統計プログラムパッケージの評価と作成構想：浅野長一郎 (九大・理)

セッションG 一般テーマ 方法論

座長：浅井 晃 (千葉大・理)・柳井 晴夫 (千葉大・人文)

(13:00~17:00)

	分
G-1 食品における官能検査と理化学検査の関係：林 茂 (国鉄・岐阜工事務局)	20
G-2 モンテカルロ法による逐次検定の応用：加藤登紀子 (東大・医)	15
G-3 PWRによる多処理逐次選択方式の拡張について (II)：○城島邦行 (熊本女大)・浅野 長一郎 (九大・理)	15
G-4 Two-compartment model の統計的評価と数値検証：○井上俊一・後藤昌司・永井武 昭 (塩野義解析センター)	15
G-5 “弱い”含意とファジィ論理：岡本雅典 (広大・総合科学)	15
G-6 計量広告学試論 (2) —広告出稿の効率的測定方式について—：丸山正明 (日本ビジネス スクール)	15

9月3日(土)

207 番 教 室

	分
G-7 会議・討論の発言時間についてのデータ分析：永岡慶三（慶大・工）	15
G-8 潜在クラス分析への正準分解の適用：中島信和（東大・工）	15
G-9 因子分析の一方法：今泉 忠（立教大・社会）	15
G-10 多アイテム反応の数量化とその漸近理論：○田中 豊・久保田信子（武田薬品・試験解析室）・浅野長一郎（九大・理）	20
G-11 n-way 質的データ中の線形構造を探る一手法について：岩坪秀一（電子技術総合研）	20
G-12 MT-CG変換による数値判別分析法：○菅野長武（福渡高校）・岩崎幸三（藤井寺工業高校）	20
G-13 N個の対象間の非対称な関係を図式化するための一技法：千野直仁（愛知学院大・文）	15
G-14 多変量解析計算法の代数的構造：三觜 武（国鉄・鉄道技研）	20
G-15 分結指数の検討：海野道郎（関西学院大・社会）	20
討 論	

(Memo)